

第3回懇話会におけるご意見等の概要について

エリアの現状認識に関すること

- ①錦町や上杉ではマンション開発が活発であり、さらにこれを伸ばして都心居住へとつなげていくにあたり、「東京ではできない都心居住が実現できるエリア」と言える。
- ②エリアの就業者で増加しているのが「医療、福祉」なのは確かだが、「公務」の存在は大きい。
- ③デベロッパーが言うには、晩翠通から西側に対する大きな投資はなかなか難しいものがあるようだ。立町のあたりなど、リノベーションやミクスドユースの推進、そしてエリアマネジメント等を通じて、表以上に裏通りが魅力的になるよう取り組んでいく必要がある。

理念等に関すること

- ④市基本計画とは異なり、仙台の人のアイレベルに立った分かりやすい表現で、エリアを使う主役が誰なのかが読み取れ、具体の取り組みを行う仲間づくりにつながる理念だと良い。
- ⑤理念の表現に一定のあいまいさが残ることは仕方ないが、ビジョンを受け取る側が右に行けばいいのか左に行けばいいのか、方向性が分かるような規範性が必要。施策の方向性として書いてあることから規範性が読み取れるので、理念に書かれている「杜が輝く」等の、よく分からない表現を修正すべき。
- ⑥意図するものは分かるが、言葉の使い方として「光景」は結果としてできるものであり、作りだすものではない。
- ⑦理念は、これからの夢と言うかあるべき姿と言うか、ワクワクする感じが表現できると良い。
- ⑧Greenestは良い言葉だが、どういう動きにつながるのかイメージしづらい。9月の素案からはだいぶ分かりやすくなったが、まだ動き方がはっきりと見えない。
- ⑨デベロッパーがこのエリアどう見ているかを調べると、マンション広告に「都心」「みどり」といった言葉が多く、これからの20～30年を考えたとき、絵になるみどりに囲まれる中で展開される活動が羨ましいと思われるような、豊かに暮らしているイメージをつけていければ、その光景は観光としても見るべき価値となる。みんなの庭、市民の庭、仙台の庭などの表現であれば、多様な主体がともに庭づくりに取り組み、その庭や取り組みを多くの人が見に来るといった、場所性とマッチするようなイメージを発信できるのではないかと。
- ⑩10年後の理想的な状況を想像してつくったビジョンだと書いても良いと思う。定禅寺通の緑道等でのイベントも盛んなエリアではあるが、沿道やまちとの一体感だとか、それを歓迎する状況、みんなで一緒にまちづくりに取り組んでいこうという絵を、このビジョンで描ければよい。
- ⑪シンガポールは「ガーデンシティ」や「シティ・イン・ザ・ガーデン」といった理念を掲げて国づくりに取り組み、今ではアジアのビジネスセンターへと発展を遂げた。何か心が込められる表現を、このビジョンでも用いていくべき。
- ⑫究極的には、車優先の社会とどう戦っていくのかということにもつながる。歩行者や人を優先するまちができて初めて、安心して活動・商売ができる。歩行者優先の姿勢が読み取れるような内容があれば、他のエリアや都市との違いを出す大きなポイントになる。
- ⑬このエリアが選ばれ続けることが、仙台都心が選ばれ続けることにつながる、という説明がもう少し分かりやすくなると良い。

施策の方向性・取り組み検討の方向性に関すること

- ⑭空間・活動の連続性向上や公共施設等の利用価値向上という施策の方向性は、他の、交流やゆとりを生んでいくという方向性を補うものというより、そのための手段の1つではないか。
- ⑮民間にどうして欲しいかもっと書いてあると良い。エリアの空間・活動の連続性向上等は、市だけでできるものではない。民の役割というか、「民間にこうしてもらえると、公・民の双方の取り組みが揃って良いまちになる」と書ければ、リノベーションや開発、テナント出店等の場面でデベロッパー等にも「このエリアが良い」と思ってもらえるのではないかと。
- ⑯施策や取り組みの方向性の、内容は分かるが分類がピンとこない。特に取り組みの例を示す部分は、目的・手段・期待が混在している。分類を整理して、まず公共空間の方向性、次に、つながっている民間空間の方向性、そして空間で展開していくアクティビティの方向性、とすれば分かりやすくなるのではないかと。
- ⑰ロジックの整理とともに、掲載する写真についても、意図がわかるように整理する必要がある。

他のエリアとの関係性や地図等の表現に関すること

- ⑱全体としてはまとまっていると思うが、市外の人を目線を意識し、都心の様々なエリアとの連動やつながりを意識した整理がされると、さらに良いものになる。
- ⑲都心の回遊のことにも触れる必要がある。スモールエリアの話は住んでいる人や働いている人に向けたものだが、回遊の話は大きな、外部の視点であり、回遊のことを書かないとエリアの性格が出ない。
- ⑳必ずこうすべきというわけではないが、一般市民の関心を引くのであれば、この場所ではこんな過ごし方ができるといった、1日のある人の行動をストーリー仕立てで書き込んで良い。
- ㉑このエリアにどんな人がいて、どこで何をして楽しむのか、その行動を例示するなどして、郊外のショッピングセンターにはない楽しみ方に合致するエリアなのだと示すことが重要。
- ㉒交流の南北軸、ゆとりの東西軸は、方角ではなく特徴や目的を前面に書くと、周辺とのつながりが分かりやすくなる。
- ㉓地図上に記載の「昼も夜も楽しめる個性的なスモールエリア」は、エリアの南だけに限ったものではない。北側や東側の都心居住者のところも役割を果たしているし、大町等エリアのもっと南の方にも特徴的な店等が多い。
- ㉔地図に設ける矢印にはディスティネーションがなければいけない。具体的なつながりのイメージを持ったものとすべき。矢印を記載するのであれば、何と何をつなぐのか関係性を明示し、エリアの軸と、都心全体の大きな回遊の話と組み合わせると説明すると分かりやすくなる。

その他

- ㉕年間30万人の集客を誇る市民会館等が、やがてこのエリアからなくなってしまうことは、このビジョンの方向性と相反するのではないかとということが気になる。
- ㉖このエリアを文化・交流・市民活動の場としていくという方向性を無視して物事が動いていくことはないと思っている。